

(改造部門)
優秀賞

関西学生団地再生研究会

■ Concept 住民参加のプロセスをデザイン

団地の再生を考える上で住民の合意形成を行うことは必要不可欠である。しかし、現実には多様な住要求を団地全体として取りまとめることは非常に困難な状況にある。

そこで合意形成を円滑に行うために、日常生活におけるコミュニティの最小単位である「階段室の繋がりに着目した。階段室を最小単位として合意形成を行うことにより、住民の多様な住要求にきめ細かく対応した再生事業を円滑に行うことができる。

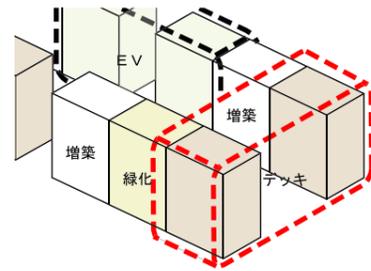
本計画では、階段室ごとに一定額の予算を与え、住民達が各自必要な再生を選択していく方法を提案する。

■ Process 階段室会議

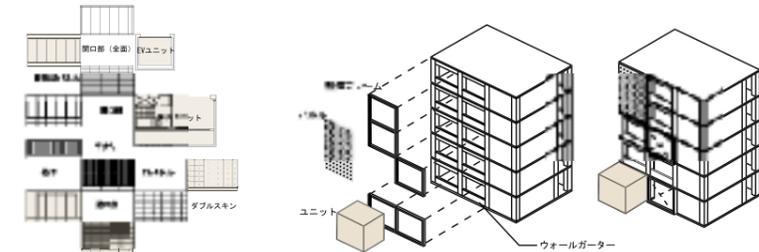
どのような再生手法を選択するか階段室毎に決定し、合意形成のスピードも違ってくるため、階段室毎に再生の程度・表情に差異が生じる。

他の階段室と協力して予算を拡大し、より大規模な改修を行うケースもある。即座に住民の合意が得られ、工事に着手するも階段室もあれば、なかなか意見がまとまらず再生を行えない階段室もある。

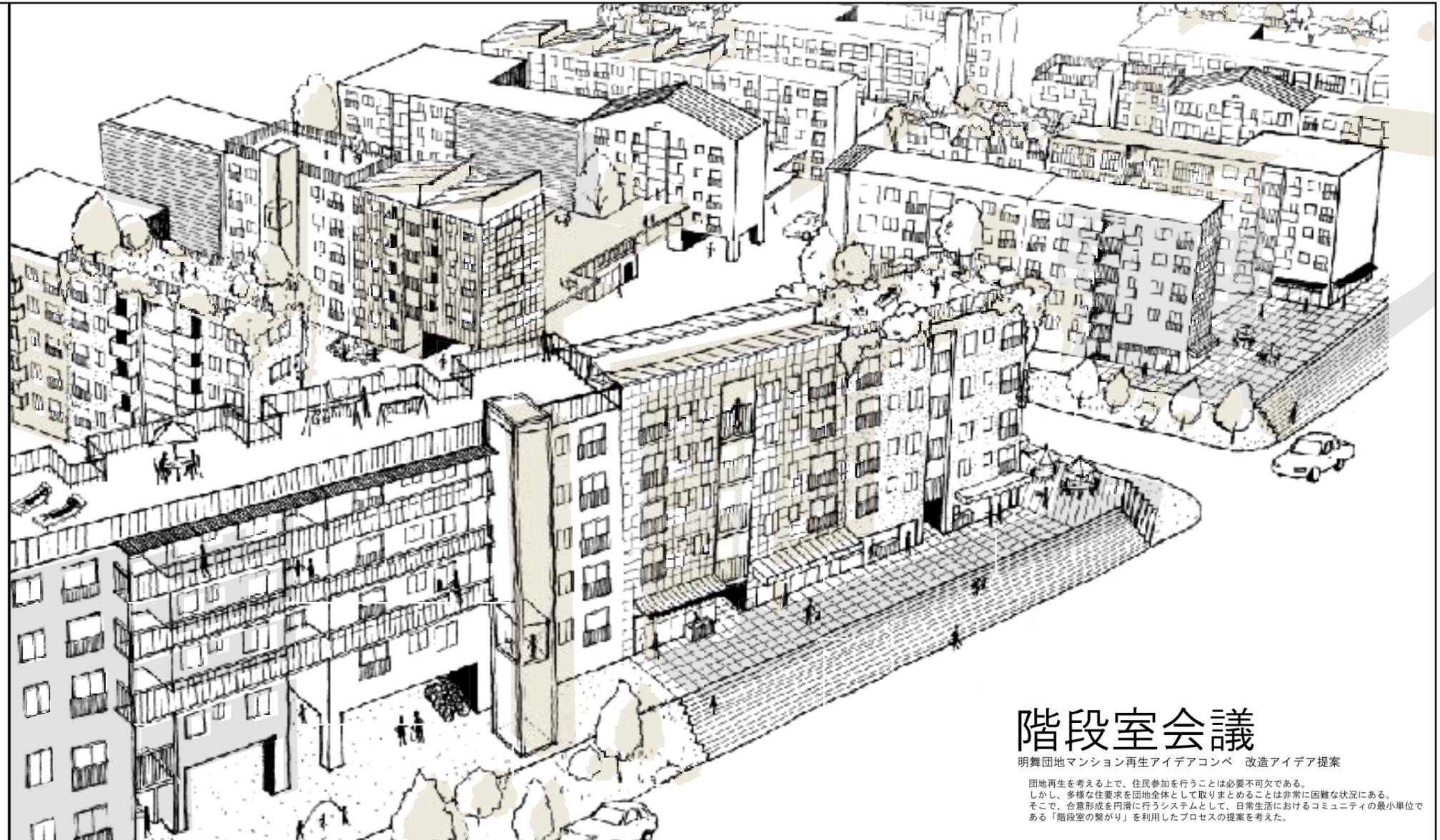
屋上緑化や増築、外壁デザインの変更など、階段室毎に選択された様々な再生手法が団地内空間を豊かなものに変化させていく。



■ System 再生ツールの工業化によるコストダウン



団地の均質なモジュールを生かし、再生で用いるフレームやパネルをユニット化する。それにより、再生手法の工業化・メニュー化が可能となり建設コストを削減できる。



階段室会議

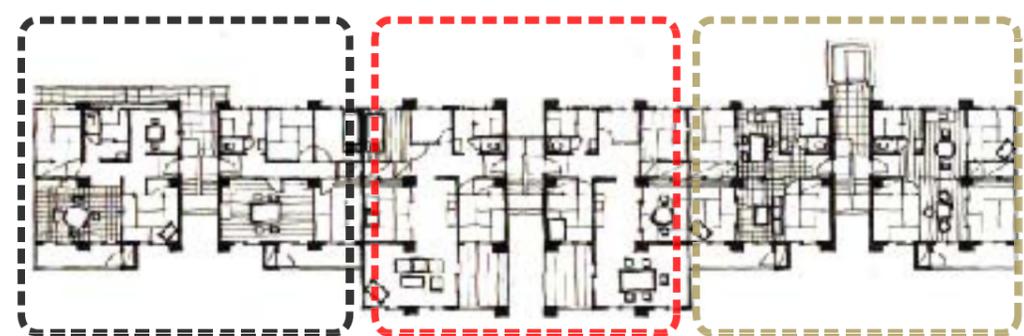
明舞団地マンション再生アイデアコンペ 改造アイデア提案

団地再生を考える上で、住民参加を行うことは必要不可欠である。しかし、多様な住要求を団地全体として取りまとめることは非常に困難な状況にある。そこで、合意形成を円滑に行うシステムとして、日常生活におけるコミュニティの最小単位である「階段室の繋がりに着目したプロセスの提案を考えた。



明舞12号団地配置図 S=1:1500

階段室A	階段室B	階段室C
 専有面積 : 67.72㎡ (内バルコニー) : 6.16㎡ 32号棟と協力してEVの設置を行い、内部プランを大幅に変更した。	 専有面積 : 91.13㎡ (内バルコニー) : 10.77㎡ 南側に対して増築を行い、日の当たる広々としたリビングへと改築した。	 専有面積 : 67.72㎡ (内バルコニー) : 6.16㎡ お年寄りのためのバリアフリーの一環として、EVの設置を行った。



31号棟4F平面図 S=1:200



31号棟平面詳細図 S=1:50